

# たまけん One Day Fieldwork 人権の森・多磨全生園を歩く

ハンセン病問題を存知でしょうか。近代以降、誤った国策によって筆舌に尽くしがたい偏見と差別にさらされ、人権を侵害され続けた患者や回復者たち。治癒可能と判明した後も日本では隔離政策が継続され、「らい予防法」が廃止されたのは1996年。国賠訴訟判決を受けて国が誤りを認めたのは2001年。さらに家族が原告となり勝訴した国賠訴訟判決は2019年…わずか6年前のことです。国家的な人権侵害はなぜ起こり、なぜ最近まで続いたのか。私たちができること、すべきこととは。

全国に13か所ある国立療養所のうち唯一都内に所在する「多磨全生園（東村山市）」を訪ね、国立ハンセン病資料館を見学し、専門家に説明を受けながら園内を実際に歩くことを通じて、学び合い、考え合えたらと願い、企画いたしました。皆様のご参加お待ちしております。

## 2026年2月1日（日） 10:00～15:00

■ **集合10:00 国立ハンセン病資料館**（または久米川駅北口9:30）  
東村山市青葉町4-1-13／電話） 042-396-2909

西武新宿線久米川駅北口から清瀬行バス15分

「議員の学校」  
タイアップ企画

## ■ プログラム

- 10:00～11:30 国立ハンセン病資料館見学（映像＋展示）
- 11:30～12:30 園内ガイドウォーク（納骨堂／全生学園跡／望郷の丘／山吹舎ほか）
- 12:30～13:15 昼食（園内食事処なごみ）
- 13:30～15:00 「ハンセン病問題と教育～負の歴史を人権教育にどうかすか」

■ **講師・ガイド 佐久間 建 氏**（国立ハンセン病資料館運営委員）  
学校教員としてハンセン病問題を通じた人権教育に30年以上にわたり取り組み続け、現在に至る。  
著書に「ハンセン病と教育（人間と歴史社）」「ハンセン病問題から学び、伝える（清水書院）」等



■ **参加費／定員20名**  
議員：8,000円／一般：4,000円  
※いずれも昼食代込み

※多摩研会員はそれぞれ1,000円引

※当日キャンセルの場合は50%頂戴します

■ **お申込みはフォームから**→  
またはメール／電話／FAXで



■ **主催**  
**NPO法人多摩住民自治研究所**  
電話：042-586-7651 FAX：042-514-8096  
E-mail) tamajitiken1972@space.ocn.ne.jp